

テーマ「感染症対策を踏まえた働き方改革」

【協議の概要（要旨）】

- 各校での感染症対策と対策の実施による教職員の仕事量についての話し合い
- 今後の働き方改革を踏まえた業務改善についての話し合い

視点１ 行政との連携や働きかけ

- ・ 2 学期制導入による授業時間の確保、あゆみ作成負担の軽減（前，後期 2 回）
- ・ 登校時の体温測定にサーモカメラを導入（茨城町で各校に 2 台設置）
担当職員の人数削減と検温時間の短縮に効果的
- ・ 放課後の消毒作業
ボランティア（地域の女性会等）の協力により、教職員の消毒作業時間を軽減
- ・ 専科教師（英語・理科）の配属
担任教師の空き時間ねん出で教材研究や宿題検閲等の時間の確保
- ・ 会議、研修にズームやペーパーレスを導入
会議要項の印刷作業の削減、少人数グループごとのズーム会議による感染防止
- ・ 中学校部活動実施日数の整理（各週において 2 日の休み，土日いずれか休み）
- ・ 部活動指導員及び予算確保への要望
- ・ ICT 環境の整備（貸し出しルーター、アクセスポイントの増加等）の要望

視点２ 自校での取組

- ・ 運動会（体育祭）の時間短縮と参観者の制限
- ・ 儀式的行事の参加者削減、来賓の厳選と内容の削減での時間短縮
- ・ 授業参観の持ち方（学年分散型、授業のズーム配信）
- ・ 年間カリキュラム、週時程、日課の見直し
- ・ 運動会（体育祭）の種目削減で半日開催
- ・ 遠足、宿泊学習、修学旅行等の行き先や日数、内容の変更
- ・ 家庭訪問、保護者会、授業参観、個別面談の持ち方変更（ズームの活用）
- ・ マチコミメールメールアプリの活用
（検温、欠席連絡、行事等の参加確認、学校アンケート回答、文書の配信）

視点３ 次年度に取り組みたいテーマ

- ・ 茨城町校長会では、コロナ禍における学校運営と今後の働き方改革を踏まえて、町教育委員会と連携し、繁忙期である 4 月に「全日・1 日 5 時間授業」の導入を検討している。
- ・ 年間カリキュラムを検討し、1 週において 2 日の 5 時間授業日をつくることを検討している。
- ・ 学校運営協議会との連携